

福 井 県 医 師 会

だまり

第547号 平成19年(2007)1月

新 春 特 集 号



表紙写真説明：越前海岸の波濤

越前海岸は、四季様々の表情を見せる。訪れる多くの人々を最も魅了するのは、極寒のシベリアからの強い北風に後押しされた日本海の荒波が、白山火山系の溶岩が海に流れ出て凝固した奇岩に激突し、群青色の海を背景とする空中に銀砂の如き水しぶきとなって飛翔する、厳しくも美しい真冬の風景であろう。(三国町天神島付近にて)

福井市 吉村 信

一一年始始有有一一年春春百百歳歳曾曾無無百百歳歳人人
 能能向向花花前前幾幾回回醉醉十十千千
 沽沽酒酒莫莫辭辭貧貧 崔崔惠惠童童書書

(大意)

春は毎年巡ってくるが、人寿百歳と言いつら百年生きる人はない。(現世では
 そうでもない)
 されば盛りの花を賞で美酒に陶酔することも数える程しかない。銭のないこと
 なくよくよするな。

一一月月主人主人笑笑幾幾回回相相逢逢相相值值且且
 銜銜杯杯眼眼看看春春色色如如流流水水今今日日殘殘
 花花昨昨日日開開 崔崔惠惠童童書書

(大意)

一月の中、口を開いて笑うことは度々はないから相逢うた機会に酒をのみ飲を
 取るがよい。
 眼前の春色は流水のように過ぎさり、昨日開いた花が今日凋落する。人寿の果
 敢なきことぞ。

◎宴城東莊 (城東の莊に宴す)

唐 崔 敏童 (弟)

一年始有一年春

一年始めて一年の春あり。

百歳曾無百歳人

百歳曾て百歳の人無し、

能向花前幾回醉

能く花前に向つて幾回か酔わん、

十千沽酒莫辭貧

十千酒を沽うて貧を辭する莫れ。

(行草)

◎奉和同前 (同前に奉和す)

唐 崔 惠童 (兄)

一月主人笑幾回

一月主人笑うこと幾回ぞ、

相逢相值且銜杯

相逢い相値うて且杯を銜まん。

眼看春色如流水

眼に看る春色流水の如きを、

今日殘花昨日開

今日の殘花昨日開く。

(隸)